

講師紹介



恒次 祐子

東京大学大学院 農学生命科学研究科
生物材料科学専攻 木材物理学研究室
教授

1997年 東京大学農学部林産学科卒業。1999年東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了。博士（工学）。1999年林野庁 森林総合研究所入所、2017年東京大学大学院農学生命科学研究科准教授、2021年より現職。専門分野は林産学、居住環境学。木材や木材を用いた空間が人に与える影響、木材利用による地球環境保全効果の定量的な評価などを研究。



西田 裕子

公益財団法人 自然エネルギー財団
シニアマネージャー

2017年より現職。専門は、都市再開発や再開発についての調査研究、都市のサステナブルデベロップメント（環境建築／都市づくり）関連の政策。2017年まで、東京都において気候変動、ヒートアイランド対策の政策立案および国際環境協力を担当。世界の大都市ネットワークであるC40と連携して、都市の建築の省エネルギー施策集「Urban Efficiency」を取りまとめるなど、世界の都市をサポートする活動をしてきた。早稲田大学政治経済学部卒、ハーバード大学ケネディ行政大学院卒、行政学修士。自然エネルギー財団では、2030年、2050年に向けたエネルギー転換計画・戦略の策定、建築部門・産業の脱炭素化研究を行うとともに、自治体や企業など非政府アクターの気候変動対策を支援する。住宅・建築SDGsフォーラム副委員長。



中野 勝行

立命館大学 政策科学部
准教授

三重県出身。鈴鹿高専で機械工学を、豊橋技術科学大学大学院でエコロジー工学を学ぶ。学生時代に起業した会社を経て、（一社）産業環境管理協会に勤務。丸太や繊維板、CLTを含む産業界におけるライフサイクルアセスメントの実践を主な仕事とする。2011年、東京大学工学系研究科にて博士（工学）を取得。2018年4月より現職。趣味はアウトドア全般。

